大きな声で現場で奮闘中!!

株式会社 興建
（宇都宮支部）
施工部　中河 優貴乃

幼い頃から建物を造る職業に憧れがあり、工業高校の建設工学科で建築について学びました。クラスは40人中14人と３割を超える女子生徒がいて、建設業界にも女性は多くなっているなという印象を受けました。

しかし、就職活動の際「女性が建設会社に就職するのは難しい。」と言われ、違う職種に就くことも考えました。でも、やっぱり自分のやりたいことをしたいと就職先を探していた時に、先生に勧められ今の会社に就職することができました。

施工管理で現場監督の仕事と聞いた時は、どんなことをするのか全く想像ができませんでした。会社も、施工部に女性が入るのは初めてだということで、入社前はやっていけるか不安がありました。実際に入社してみると社員の皆さんはとても優しくて面白く、過去の現場のことなど色々な話をしてくださいます。

私には同じ年の同期がいて、わからないことを相談したり、一緒に考えることができるので、同期がいてくれて良かったと思いました。現場に出

てもまだまだわからないことだらけで、職人さんに質問されてもすぐに答えることができず、待たせてしまうことがほとんどです。自分が理解できていない状態で伝えるのは間違えるリスクが大きいので、図面をしっかり見て理解し、質問されてもすぐに適切な返事や対応ができるようになりたいです。

また、入社した時、コミュニケーションをとるのに挨拶はとても大切だということを教わり、現場に出て挨拶の大切さを改めて感じました。なので、現場に出る時はいつも以上に、大きな声で元気よく挨拶をすることを意識しています。初めて朝礼をやった時に、「もう少し大きな声で。」と言われてからは、言葉に詰まっても大きな声を出すようにしています。朝礼は一日の始まりなので、その日一番の大きな声を意識していますが、まだまだ上司の声の大きさに負けてしまうので、今後も負けないように大きな声で元気よく挨拶ができるようになりたいです。

そして、施工管理の資格を取って立派な現場監督になり、女性ならではの視点を生かして活躍できるように努力していきたいです。